

明和町のあゆみ

昭和33年	9月	三和町と斎明村合併、明和町誕生
昭和34年	9月	初代明和町長に辻一雄氏が就任
昭和34年	9月	伊勢湾台風襲来（死者5人・全壊家屋137戸）
昭和35年	3月	第2代町長に山口龍三氏が就任
昭和35年	8月	町章を町民から公募、決定
昭和36年	3月	有線放送施設完成
昭和37年	1月	大淀漁港の灯台点灯
昭和38年	8月	双葉幼稚園、曙幼稚園が完成
昭和39年	5月	明和中学校体育館完成
昭和40年	8月	南藤原―斎宮駅間、三交バス開通
昭和41年	7月	明和中学校に、県下学校施設初の50メートルプール完成
昭和42年	4月	明和町観光協会設立
昭和43年	2月	県道の八木戸橋が完成
昭和44年	2月	第4代明和町長に木戸口幸助氏が就任
昭和45年	11月	町制10周年記念式典挙行
昭和46年	4月	明和町消防本部（常備）設置
昭和47年	5月	菊狭間環境整備施設組合の業務開始
昭和48年	4月	第5代明和町長に吉田松雄氏が就任
昭和49年	5月	みどり保育所開園
昭和50年	3月	常陸宮ご夫妻ほか6殿下（妃殿下）が、神宮土器調整所・古里遺跡等をご見学
昭和51年	4月	伊勢神宮遷宮の臨時祭主・第三皇女鷹司和子さん、斎宮跡を訪問
昭和52年	11月	暁幼稚園開園
昭和53年	3月	農協ライスセンター（下御糸）完成
昭和54年	4月	伊勢広域清掃工場業務開始
昭和55年	10月	南勢バイパス（国道23号）全線開通
昭和56年	5月	試掘調査等により斎宮跡の实在が判明
昭和57年	7月	明星の水池で奈良時代の遺構を発掘

昭和52年	3月	中央公民館完成
昭和53年	7月	水池土器製作遺跡、国の史跡に指定
昭和53年	10月	坂本―斎宮間、広域園道路開通
昭和54年	4月	明和町社会福祉協議会業務開始
昭和54年	8月	町制20周年記念式典挙行
昭和55年	3月	斎宮跡、国の史跡として保存指定
昭和56年	6月	総合グラウンド完成
昭和57年	3月	斎宮跡調査事務所兼仮設展示館オープン
昭和58年	7月	町の本「横」決定
昭和59年	3月	「斎宮跡の道」オープン
昭和60年	2月	担い手センター完成
昭和61年	7月	第8代明和町長に渡邊靖六氏が就任
昭和62年	5月	みえぎよれん大淀貝類集荷センター完成
昭和63年	8月	台風10号襲来
昭和64年	10月	緑の少年隊結成式、愛林祭開催
昭和65年	12月	福祉センター・地域改善センター完成
昭和66年	3月	第9代明和町長に辻英輔氏が就任
昭和67年	3月	斎王の森横に遺構を再現
昭和68年	6月	広域園道路全線開通
昭和69年	3月	美化センターオープン
昭和70年	6月	第3回斎王まつりで斎王群行再現
昭和71年	7月	漁免道路完成
昭和72年	10月	南勢広域斎場組合火葬場完成
昭和73年	5月	浩宮さま、斎宮跡等をご見学
昭和74年	12月	証明書発行のコンピュータ化
昭和75年	6月	町民憲章・町の花（フハナショウブ）が決定
昭和76年	8月	大仏山スポーツ公園オープン
昭和77年	9月	町制30周年記念式典挙行
昭和78年	7月	財団法人国史跡斎宮跡保存協会発足
昭和79年	10月	農協合併。多気郡農業協同組合発足
昭和80年	10月	斎宮歴史博物館オープン
昭和81年	7月	総合体育館完成
昭和82年	8月	ふるさと会館オープン

平成4年	10月	在宅障害者デイサービススタート
平成5年	11月	国史跡「斎宮跡」シンポジウム開催
平成6年	9月	王朝ロマンフェスタで野外音楽群集劇を披露
平成7年	4月	明和町テニスコートオープン
平成8年	12月	第12代明和町長に木戸口眞澄氏が就任
平成9年	3月	都市計画マスタープランを策定
平成10年	7月	明和町と南勢町を結ぶサニーロードが全面開通
平成11年	4月	「明和の里」オープン
平成12年	11月	在宅看護支援センターも同時スタート
平成13年	3月	坂本古墳群から、7世紀前半に造られた前方後円墳と金銅装頭椎大刀が見つかる
平成14年	9月	明和町と松阪市を結ぶふると農道「新須田橋」が完成
平成15年	3月	町制40周年記念式典挙行
平成16年	2月	明和町下尾隣保館が明和町人権センターに名称変更
平成17年	4月	資源ごみ（瓶類・古紙・古布・その他プラスチック）の分別収集始まる
平成18年	5月	庁舎をつなぐ増改築工事と耐震化工事が完了
平成19年	6月	群馬県邑楽郡明和町と友好提携を締結
平成20年	10月	「いつきのみや歴史体験館」オープン
平成21年	11月	新下御糸漁港が開港
平成22年	3月	福祉センター改装オープン
平成23年	3月	町のシンボルの存在、旧陸軍の給水塔が取り壊される
平成24年	4月	ごみの分別と減量化・資源化に向けて「指定ごみ袋」制度を実施。情報公開制度がスタート
平成25年	11月	明和町・松阪市・飯南町・飯高町・宮川村・大台町・勢和村・多気町・三雲町・嬉野町の10市町村で、松阪地方市町村合併検討会を設置
平成26年	2月	市町村合併に関する住民1000人アンケートを実施
平成27年	3月	斎宮駅北側に斎宮跡10分の1史跡全体模写完成オープン
平成28年	7月	美化センターに替わり、池村地内に環境センターがオープン
平成29年	8月	住民基本台帳ネットワークシステムがスタート
平成30年	10月	住民票コードが、町民に配布される
平成31年	10月	市民活動サポートセンターがオープン
平成32年	10月	明和町・多気町・勢和村・玉城町・度会町の5町村で合併研究会が発足

平成15年	2月	戸籍事務をコンピュータ化
平成16年	4月	障害者生活支援センターが開設
平成17年	4月	いつきのみや歴史体験館東に休憩所オープン
平成18年	10月	明和町・多気町・勢和村・玉城町・度会町の5町村で市町村合併任意合併協議会が発足
平成19年	5月	明星ほ場整備事業が完成
平成20年	7月	個人情報保護制度を実施
平成21年	8月	明和町青少年指導員協議会が設立
平成22年	11月	住民基本台帳ネットワークシステム第2次サービス開始
平成23年	12月	自主運行バス（町民バス）の試行運行開始
平成24年	3月	市町村合併任意合併協議会が解散
平成25年	3月	公営住宅整備事業上御糸団地建て替え工事（第1期）に着手
平成26年	4月	明和町史「史料編」が完成
平成27年	5月	幼稚園・小学校・中学校で2学期制がスタート
平成28年	7月	大淀海岸キャンプ場がリニューアルオープン
平成29年	10月	松阪地域広域消防組合明和分署に防災訓練センターが設置
平成30年	3月	明和町次世代育成支援行動計画を策定
平成31年	4月	役場東側に明和交番が開所
平成32年	6月	社会福祉協議会障害者通所授産施設「ありんこ」がオープン
平成33年	6月	公営住宅整備事業上御糸団地建て替え工事（第2期）に着手
平成34年	10月	地域における子育てを支援する明和町ファミリー・サポート・センターを開設
平成35年	10月	町内5土地改良区が合併して明和土地改良区に
平成36年	11月	明和町史「斎宮編」が完成
平成37年	4月	大淀・下御糸漁協を含む伊勢湾岸の5漁協が合併し、伊勢湾漁業協同組合が発足
平成38年	10月	老人福祉センターから保健福祉センターへ名称変更
平成39年	11月	県道多気停車場斎明線バイパスが全線開通
平成40年	10月	第15代明和町長に中井幸充氏が就任
平成41年	7月	公営住宅整備事業上御糸団地建て替え工事（第3期）に着手
平成42年	3月	皇太子さまが斎宮歴史博物館をご訪問。国史跡斎宮跡の出土品などを見学される
平成43年	4月	日曜開庁を試行スタート
平成44年	6月	上御糸・下御糸地区農業集落排水事業に着手
平成45年	6月	公営住宅整備事業上御糸団地建て替え工事（第4期）に着手

平成21年	9月	町政50周年記念式典挙行
平成22年	3月	子育て支援施策として、みどり保育所増築工事に着手
平成23年	9月	国史跡斎宮跡指定30周年記念式典挙行
平成24年	3月	「全国瞬時警報システム（J・ALER）」を導入
平成25年	9月	第5次明和町総合計画の策定について町民アンケート調査を実施
平成26年	10月	「明和町行政チャンネル」の放送開始
平成27年	2月	明和町公共下水道（フレックスプラン）明和处理区の事業が完了
平成28年	3月	町有公園の適正管理のため都市公園条例を制定
平成29年	4月	明和町再生プランが廃止され、「事務事業評価システム」を導入
平成30年	9月	認可保育所「明和ゆたか保育園」が開園。
平成31年	9月	乳幼児医療費助成制度の対象年齢を引き上げ、「子ども医療費助成制度」に改正
平成32年	3月	東日本大震災被災地へ備蓄物資を搬送。義援金の受付を開始
平成33年	3月	第5次明和町総合計画を策定
平成34年	4月	明和町観光振興計画（平成23〜27年度）を策定
平成35年	5月	明和町立暁幼稚園を休園
平成36年	6月	担い手センターを全面改修
平成37年	6月	中南勢広域営農団地農道（ビーフロード）の明和多気区間が開通
平成38年	6月	東日本大震災被災地に町職員6人を派遣
平成39年	6月	明和町マスコットキャラクターの名称がめい姫に決定
平成40年	10月	松阪市・明和町・多気町・大台町が協力し、定住自立圏構想「中心市宣言」を発表
平成41年	11月	下御糸小学校創立百周年記念式典を挙行
平成42年	3月	日本最古の「いろは歌」墨書土器が出土
平成43年	3月	6次産業化（地域資源活用・農商工連携）推進にか
平成44年	6月	かる研究会を発足
平成45年	10月	公共施設用地として明和消防署南側の土地約41,000㎡を取得
平成46年	10月	大堀川改修促進期成同盟会が解散
平成47年	10月	清掃工場へのごみの持込みについて有料化が実施
平成48年	11月	住民票住所に「方書」の表示を開始
平成49年	11月	群馬県明和町と災害時の相互応援に関する覚書を締結
平成50年	1月	明和町男女共同参画基本計画を策定
平成51年	3月	皇學館大学と明和町との包括連携に関する協定を締結
平成52年	7月	伊勢市、鳥羽市、志摩市、明和町、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町で伊勢志摩定住自立圏形成協定を締結
平成53年	8月	ふるさと寄附の特典制度を開始

平成26年	9月	町制施行55周年記念式典・記念講演会を開催
平成27年	1月	「振筆紙」が三重県指定伝統工芸品に認定
平成28年	3月	京都府与謝野町、島根県津和野町の3町で災害時の応援協定を締結
平成29年	6月	天皇・皇后両陛下が明和町を訪問し、斎宮歴史博物館をご視察
平成30年	10月	養村忠送りと木造不動明王立像を町指定文化財に指定
平成31年	4月	国道23号線の盛土部分に緊急避難階段を設置
平成32年	4月	実物大復元建物建築工事に着手
平成33年	6月	斎宮きららの森メガソーラー設置運営事業に関する基本協定を締結
平成34年	10月	農業集落排水事業における笹笛処理場が供用開始
平成35年	12月	伊勢湾西南海岸事業が3月に完成し、完成式が開催
平成36年	2月	約10年ぶりに明和町産業展が開催
平成37年	3月	みょうじょつこも園が完成
平成38年	3月	斎宮きららの森で発電を開始し、点灯式を挙行
平成39年	6月	近鉄斎宮駅史跡公園口休憩所が完成
平成40年	9月	第4期明和町障がい福祉計画を策定
平成41年	9月	松阪市・明和町・多気町・大台町で松阪地域定住自立圏形成協定を締結
平成42年	4月	明和町の「祈る皇女斎王のみやこ 斎宮」が日本遺産に認定
平成43年	4月	町内小学校で土曜授業が開始
平成44年	6月	所得段階別介護保険料が改定され、11段階に
平成45年	9月	明和町プレミアム付き商品券を販売
平成46年	11月	平安時代の斎宮の役所「斎宮寮」を復元した復元建物が完成、竣工式を開催
平成47年	12月	マイナンバー制度導入
平成48年	10月	松阪地域定住自立圏共生ビジョンを策定
平成49年	11月	第22回全国女性消防操法大会に明和町女性消防隊が出場
平成50年	11月	東京国立博物館平成館講堂にて日本遺産認定交付式が開催
平成51年	12月	史跡公園「さいくう平安の杜」がオープン
平成52年	12月	「明和町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」及び「明和町総合戦略」を策定
平成53年	3月	大淀津波避難タワー及び浜田・八木戸津波避難タワーの造成工事に着手
平成54年	3月	「陸軍第7通信連隊128部隊防空壕」と「小金古墳群3号墳」が町の指定文化財に